

実務経験のある教員による授業科目一覧：2025年度

学部・学科	科目区分	科目名	開講学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性
人間学部 心理学科	学部共通科目	文学の世界	2	2	平岡正実	元小・中学校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、ふるさと教育の視点から福井県や越前市の文化や文学者について解説したり、青少年期における読書活動の意義・重要性について講義する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	情報処理演習a	2	2	竹村順吾	インターネット関連企業勤務	IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を事例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを開設する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	情報処理演習b	2	2	竹村順吾	インターネット関連企業勤務	IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を事例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを開設する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	キャリア・デザインⅡ	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	元情報通信会社で管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	フィールドワーク演習 (インターンシップ)	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	元情報通信会社で管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。
人間学部 心理学科	専門科目	臨床心理学概論Ⅰ	2	2	稲木康一郎	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。
人間学部 心理学科	専門科目	臨床心理学概論Ⅱ	2	2	稲木康一郎	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理臨床現場における各領域の心理療法の実践事例と、臨床実践における留意点について解説する。
人間学部 心理学科	専門科目	心理面接演習	3	2	稲木康一郎	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理面接法の基本的な理論や技法、必要な倫理的態度について解説する。
人間学部 心理学科	専門科目	臨床心理学演習	3	2	渡辺克徳	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得するために演習を行う。
人間学部 心理学科	専門科目	健康・医療心理学	2	2	渡辺克徳	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理職が保健医療領域で行う業務と専門性について講義する。
人間学部 心理学科	専門科目	感情・人格心理学	2	2	森俊之	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、感情および性格に関する諸理論や研究について講義し、自己や他者の理解と対人関係の問題への対処に関して解説する。
人間学部 心理学科	専門科目	心理的アセスメント	2	2	森俊之	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理的アセスメントの基礎について、その目的や意義、倫理などを解説する。
人間学部 心理学科	専門科目	公認心理師の職責	2	2	森俊之	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、公認心理師の役割、法的義務及び倫理をはじめ、保健医療、福祉、教育その他の分野における具体的な業務について説明します。
人間学部 心理学科	専門科目	心理検査演習	2	2	吉水ちひろ	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員の指導の下、心理検査法の背景理論や実施方法、効用と限界の認識について理解するために演習を行う。
人間学部 心理学科	専門科目	産業カウンセリング	3	2	黒田 優希	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、精神疾患や復職支援の実際についての講義を行う。これから社会に出るうえで身につけておきたいメンタルヘルスに関する知識を習得し、社会問題について考えることの土台を作ることを目指す。
合計単位数				30			

実務経験のある教員による授業科目一覧：2025年度

学部・学科	科目区分	科目名	開講学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	情報処理演習a	2	2	竹村順吾	インターネット関連企業勤務	IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	情報処理演習b	2	2	竹村順吾	インターネット関連企業勤務	IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	キャリア・デザインⅡ	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	フィールドワーク演習(インターンシップ)	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	デジタル・デザイン	1	2	吉村正照	WEBデザイナー	WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、グラフィックデザインの技法について演習を行う。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	メディア・デザインla	2	2	吉村正照	WEBデザイナー	WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、映像表現の技法について演習を行う。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	メディア・デザインlb	2	2	吉村正照	WEBデザイナー	WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEBサイト制作の技法について演習を行う。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	コミュニケーション概論	1	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験もある教員が、コミュニケーションに関する基本的な考え方や実社会と繋がるコミュニケーションのあり方について解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	プロジェクト・デザイン入門	1	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)	情報通信会社において、新規ビジネス開発や大規模プロジェクト(県市町防災システム等)のプロジェクトリーダー経験もある教員が、プロジェクトの特徴や意義及び問題解決型プロジェクトの基本的な進め方について解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	メディア・コミュニケーション論	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)	情報通信会社において、システムコンサルタント経験もある教員が、メディア理論の要諦と社会的意味の位置づけ及びメディアと社会の変容について解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	ビジネス・コミュニケーション研究	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験もある教員が、組織内および組織対組織で展開されるコミュニケーションについて解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	組織と情報	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)	情報通信会社において、人事、社長・取締役やマーケティング経験もある教員が、企業活動の概況、企業と情報の関わりや主な課題について解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	公共政策	2	2	竹内直人	県庁勤務。その後民間企業の社外役員	福井県庁で30年間勤務し、その間企画部門や財政部門で政策づくりに従事し、また民間企業の社外役員としての経験をもつ教員が、官と民(政府と企業)、両方の観点から地域の課題を解決する方法について考え、解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	企業と制度	3	2	南保勝	地方銀行及びそのシンクタンクに勤務	地方銀行及びそのシンクタンクで学んだ実践的な経済学、経営学を活かして、日本の企業や地域経済の現状、歴史的発展過程、将来における企業のあるべき姿などについて「商品学」を主なテーマにしながら解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	ライティング技法	2	2	野尻昌明	広告ディレクター	広告ディレクターとしての業務経験を有する教員が、各メディアにおけるコピーライティングの技法について演習を行う。
合計単位数				30			

実務経験のある教員による授業科目一覧：2025年度

学部・学科	科目区分	科目名	開講学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性
人間生活学部 健康栄養学科	人間生活学部 学部共通科目	生活と環境D	2	2	藤原英一	総合建設コンサルタント(都市計画、建設、土地区画整理等)勤務	都市計画やまちづくりの専門家としての経験を有する教員が、まちづくり、景観、シビックプライド等の視点から、持続可能な地域社会を実現するうえで必要となる知識や考え方の体得、地域社会に対して主体的に行動する意識の醸成を目的として講義を行う。
人間生活学部 健康栄養学科	人間生活学部 学部共通科目	キャリア・デザインⅡ	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	企業(業種:情報通信、社員数:約26万人)の管理職(主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	臨床栄養学Ⅰ (栄養療法)	2	2	佐藤裕保	管理栄養士	病院勤務経験を活かし、疾患別にその発症機序、臨床症状に応じて、疾患の改善に必要な条件を栄養学の面から明らかにし、栄養食事療法の意義や方法・効果について解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	臨床栄養学Ⅲ (チーム医療)	3	2	佐藤裕保	管理栄養士	病院勤務経験を活かし、管理栄養士に係る医療保険および介護保険の実際、医療施設および介護施設における、多職種連携の実際について解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	学校栄養教育の理論と方法	3	2	清川ひろみ	元福井県栄養教諭	栄養教諭としての実務経験を活かし、栄養教諭の職務内容、学校給食の教育的な意義・給食管理の実際、児童生徒の食生活を取り巻く課題、食生活の機能、地域の食文化等、栄養教諭として必要な事項を演習を交えながら理解を深めていく。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	運動生理学	2	2	鳴瀬碧	健康運動指導士・ピラティストトレーナー 薬剤師	スポーツ・健康増進関連施設での実務経験、健康運動指導士・ピラティストトレーナー(個人事業主)としての実務経験を活かし、身体の構造と機能および運動時の生理機能の変化、健康増進のための運動、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、薬物療法中の運動のリスク等について解説する。また、スポーツと栄養についての講義では、スポーツファーマシストとして、アスリートのサポートを行ってきた経験も交えて授業を展開する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	公衆衛生学	2	2	鳴瀬碧	薬剤師	薬剤師として医療提供施設での実務経験を活かし、国が展開する国民の健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保障の仕組み、老人保健、母子保健、地域保健、産業保健、国際保健等、保健・医療・福祉の制度について解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	公衆衛生学実習	3	1	鳴瀬碧	薬剤師 健康運動指導士	薬剤師として医療提供施設での実務経験とスポーツ・健康増進関連施設での実務経験、健康運動指導士としての実務経験を活かし、健康・疾病・行動に関わる統計資料の活用方法、健康状態・疾病の測定と評価等について実習を通して理解を深めていく。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	解剖生理学	1	2	齋藤 正一	医師	病院での実務経験を活かし、人体の構造と機能がどのように密接に関連しているのかを理解できるように教授する。また正常な個体として人体が行う食事、運動、休養などの基本的な生活活動の機構、並びに環境変化に対する対応機構も実際の傷病者での回復経験等もふまえて解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	健康管理概論	2	2	鳴瀬碧	健康運動指導士	薬剤師として医療提供施設での実務経験と健康運動指導士としてのスポーツ・健康増進関連施設での実務経験を活かし、人体の構造と機能がどのように密接に関連しているのかを理解できるように教授する。また正常な個体として人体が行う食事、運動、休養などの基本的な生活活動の機構、並びに環境変化に対する対応機構も実際の傷病者での回復経験等もふまえて解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	臨床医学概論	2	2	齋藤 正一	医師	病院での実務経験を活かし、患者の病態を正確に把握し栄養指導、栄養療法を行ううえで必要な、各種疾患の病因、機序、症状、診断、食事療法も含めた治療、予防法などに関する講義を展開する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	応用栄養学Ⅰ (成長・発達・加齢、食事摂取基準)	1	2	新井田裕樹	管理栄養士	管理栄養士として医療提供施設での実務経験を活かし、エネルギー及び栄養素に関する食事摂取基準がどのような科学的根拠に基づいて策定されているのかの基礎理論及び、人体の成長・発達・加齢にともなう主要な生理現象と生化学的変化、ライフステージにおける食事摂取基準の策定と活用ならびに栄養マネジメントにおける食事摂取基準の活用について解説する
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	応用栄養学Ⅲ (ライフステージ栄養学)	2	2	新井田裕樹	管理栄養士	管理栄養士として医療提供施設での実務経験を活かし、妊娠・授乳期から授乳期、幼児期、学童期、青年期、成人期を経て高齢期に至るプロセスにおいて各ステージの生理的特徴や栄養状態等の変化を理解し、それに基づいた基本的な栄養アセスメントのあり方を解説する。また、各ステージで留意すべき栄養関連の病態・疾患に関しても解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	臨床栄養学実習Ⅲ (臨床栄養管理)	3	1	新井田裕樹	管理栄養士	管理栄養士として医療提供施設での実務経験を活かし、傷病者個々の病態や栄養状態に適合した栄養管理を行う能力を養うための症例モデルを用いた栄養アセスメント・栄養管理計画・栄養量の設定・栄養教育計画など、栄養ケアプランの作成・実施・評価に関する総合的なマネジメントについて実習する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	調理学	1	2	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、食事設計に必要な条件や具体的な調理科学理論について講義する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	調理学実習	1	1	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、実際の食事設計に必要な条件を設定しながら、調理技術の基本について実習する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	応用調理学実習	1	1	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、実際の食事設計に必要な条件を設定しながら、献立作成や環境設定を学ぶとともに高度な調理技術について実習する。
合計単位数				30			

実務経験のある教員による授業科目一覧：2025年度

学部・学科	科目区分	科目名	開講学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性
人間生活学部 子ども教育学科	人間生活学部 学部共通科目	文学の世界	2	2	平岡正実	元小・中学校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、ふるさと教育の視点から福井県や越前市の文化や文学者について解説したり、青少年期における読書活動の意義・重要性について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	人間生活学部 学部共通科目	生活と環境D	2	2	藤原英一	総合建設コンサルタント(都市計画、建設、土地区画整理等)勤務	都市計画やまちづくりの専門家としての経験を有する教員が、まちづくり、景観、シビックプライド等の視点から、持続可能な地域社会を実現するうえで必要となる知識や考え方の体得、地域社会に対して主体的に行動する意識の醸成を目的として講義を行う。
人間生活学部 子ども教育学科	人間生活学部 学部共通科目	キャリア・デザインⅡ	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。	
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	教職論	1	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、算数・数学を中心とする授業実践や特別活動等の実践を行ってきた経験を有する教員が、教職の意義や教員に求められる資質や能力について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	算数	2	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、算数・数学を中心とする授業及び生活指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「算数」の学習指導内容について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	算数科教育法	2	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、算数・数学を中心とする授業実践と生活指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「算数科」の学習指導内容およびその指導法について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	教育課程論Ⅱ	2	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、授業実践、生活指導実践を行ってきた経験と算数・数学のカリキュラム開発の経験を有する教員が、カリキュラム編成や学習指導要領の理解等、教育課程に関わり、教員が必要とする専門性・技能等について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	教職実践演習(幼・小)	4	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、算数・数学を中心とする授業実践や特別活動等の実践を行ってきた経験を有する教員が、教職の意義や教員に求められる資質や能力について実践的な活動を通して講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	理科	2	2	西出和彦	元小学校講師、元中・高校教諭	小学校講師・中学校教諭・高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「理科」の学習指導内容について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	理科教育法	2	2	西出和彦	元小学校講師、元中・高校教諭	小学校講師・中学校教諭・高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「理科」の学習指導内容およびその指導法について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	子どもと環境	2	1	西出和彦	元小学校講師、元中学校・高校教諭	小学校講師・中学校教諭・高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領に示されている領域「環境」の内容について、保育者の援助方法、保育計画および実践、評価について実践的に講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	保育内容指導法(環境)	2	1	西出和彦	元小学校講師、元中学校・高校教諭	小学校講師・中学校教諭・高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領に示されている領域「環境」の内容について、保育者の援助方法、保育計画および実践、評価について実践的に講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	乳児保育Ⅰ	2	2	森尾恵里	元保育士	保育士として、保育実践を行ってきた経験を有する教員が、3歳未満児の保育内容と運営体制について、実践的に分析、考察、検討する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	乳児保育Ⅱ	2	2	森尾恵里	元保育士	保育士として、保育実践を行ってきた経験を有する教員が、3歳未満児の保育内容と運営体制について、実践的に分析、考察、検討する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	国語	1	2	平岡正実	元小・中学校教諭	小学校教諭・中学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「国語」の学習指導内容について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	国語科教育法	3	2	平岡正実	元小・中学校教諭	小学校教諭・中学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「国語」の学習指導内容およびその指導法について講義する。
合計単位数				30			